7. 2022 年度の環境活動及び過去の実績

(1) 主な環境負荷への取組結果

① 二酸化炭素排出量(kg-CO2)

実績	2013年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
Scope1		193,785	161,705	152,544	140,262
Scope2		327,612	311,376	247,752	68,712
合計	499,125	521,397	473,081	400,296	208,974

二酸化炭素(CO2)排出量



※国は 2030 年度に温室効果ガスを 2013 年度から 46%削減することを目指しており、その基準年度の実績を参考値とした。

※排出量算定に用いる各電力会社の調整後排出係数は、「電気事業者別排出係数(特定排出者の温室効果ガス排出量算定用)」(環境省・経済産業省公表)に基づき、各年度の前年度実績を適用する。

				対前年増減率	対目標増減率
		割合	実績	(2021年度)	(2022年度)
Scope1	:	66.1%	140,262 kg-CO ₂	-8.1%	-8.9%
Scope2	:	32.9%	68,712 kg-CO ₂	-72.3%	-0.5%
合計			208,974 kg-CO ₂	-47.8%	-6.3%

② 電力使用量

				対前年増減率	対目標増減率
		割合	実績	(2021年度)	(2022年度)
事務所	:	64.6%	379,629 kWh	+0.4%	+0.4%
ケミカルセンター	:	35.4%	208,378 kWh	-3.7%	-3.7%
合計			588,007 kWh	-1.1%	-1.1%

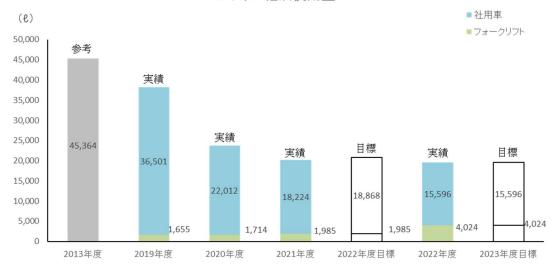


③ ガソリン・軽油使用量 (購入量)

・全社営業車台数の見直しにより引き続き減少。

				対前年増減率	対目標増減率
		割合	実績	(2021年度)	(2022年度)
社用車	:	79.5%	15,596 <i>l</i>	-14.4%	-17.3%
フォークリフト	:	20.5%	4,024 ℓ	+102.7%	+102.7%
合計			19,620 l	-2.9%	-5.9%

ガソリン軽油使用量



④ 紙使用量 (コピー用紙 購入量)





⑤ 事業系一般廃棄物(紙+プラスチック)

主にコピー用紙排出量の増加に伴う、紙廃棄物の排出量の増加

対前年増減率 対目標増減率 割合 実績 (2022年度) (2021年度) 紙 : 97.2% 10,529 kg +74.1% +74.1% 308 kg プラスチック 2.8% +3.4% +3.4% 合計 10,837 kg +70.7% +70.7%

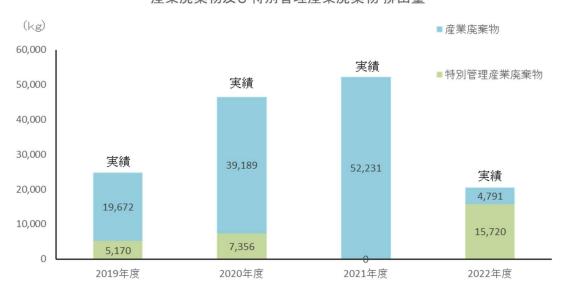


⑥ 産業廃棄物排出量

対前年増減率

実績 (2021 年度) 20,511 kg **-60.7%**

産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物 排出量



※特別管理産業廃棄物:爆発性、毒性、感染性その他の人の健康又は生活環境に係る被害を生ずるおそれが ある性状を有する廃棄物。

⑦ 水道使用量 (ケミカルセンター製造用途以外)及び排水量

対前年増減率 対目標増減率 使用量 (2021年度) (2022年度) 854(m³) +26.7% +26.7%

ケミカルセンター水道水使用量及び排水量



(2) 二酸化炭素排出量削減への取組み

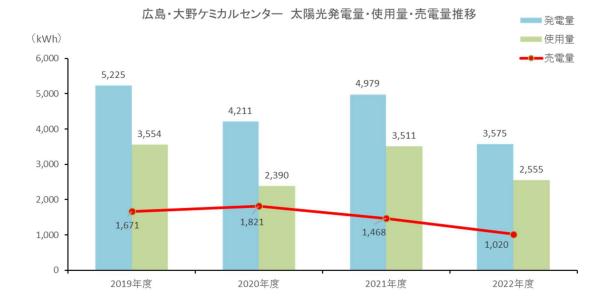




広島・大野ケミカルセンターにおける太陽光発電設備の利用

場所:広島・大野ケミカルセンター(広島県廿日市市)

※ケミカルセンター増強工事に伴い 2022 年 12 月に既存の太陽光パネルを撤去。 新たな太陽光パネルと蓄電システムが 2023 年 12 月から稼働予定。



(3) 営業部門の環境貢献活動

ア. 環境配慮型素材(LIMEX 製品)への取組み



尚、当社としては中期経営計画における具体的施策の一環として、生活産業市場を中心にした日用品容器(ブローボトル)、うちわ、マスク用ノーズワイヤー、アメニテイーグッズ等における様々な用途開発を行っており、「減プラ」として環境保全の観点より積極的に展開をはかっております。

◆エコプロ2022に出展

2022年12月7日から9日にかけて東京ビッグサイトにて開催された日本最大級の環境配慮型製品展示会に出展しました。



イ. 環境配慮型燃料(バイオマス燃料)への取組み

カーボンニュートラルに向けたエネルギー転換において CO₂を中心にした温室 効果ガス(GHG)の低減の観点より、環境配慮型(バイオマス)燃料の展開を開始しました。

当社グループである海外子会社(ベトナム、インドネシア)との連携を密にし木質ペレット(ホワイトペレット)、ヤシ殻(Palm Kernel Shell)等の調達ソースの確立及び確保に一定の目途もつき、将来的に当該商材の日本国内への販売を念頭に入れた事業者認定登録も終了しました。

先ずは海外における実績を踏まえて、問題点の抽出及び解決施策を実行し、販売拡大を視野に引き続き積極的に展開を図ってまいります。

(4) 化学物質の管理

ア. ケミカルセンター (物流基地) 取扱の化学物質

当社は劇物※の船受け可能なケミカルセンター(物流基地)を全国4ヶ所(北海道釧 路市、宮城県七ヶ浜町、静岡県富士市、広島県廿日市市)に設置し、物流ネットワーク を構築しております。構内や輸送上での事故防止の為、定期的に安全会議、防災訓練、 全国物流管理者会議を開催し、安全管理教育の徹底を図っております。

※劇物:「毒物及び劇物取締法」で規制される毒性や腐食性が強い化学物質

釧路ケミカルセンター







広島・大野ケミカルセンター



【ケミカルセンターで扱う主な化学品】



- 【苛性ソーダ】 無色の強アルカリ性液体。食塩水の電気分解により製造される。
 - 主な用途:化学繊維、製紙、パルプ、化学薬品、食品工業、石鹸
- 【塩酸】 塩化水素の水溶液。酸性が強く、多くの金属を溶解し、塩化物を作る。
 - 主な用途:化学薬品、アミノ酸、グルタミン酸ソーダ、酸洗用
- 【硫酸】 無色の酸性の液体。主な用途:肥料原料、化学繊維、化学薬品、金属 製錬

イ. ケミカルセンターの防災訓練

毎年、各ケミカルセンターでは防災訓練を行っておりますが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により 2022 年度も実施できませんでした。

ウ. PRTR 法 の SDS 制度 対象化学物質

- ・第一種指定化学物質:88 物質が対象(462 物質中)
- ・第二種指定化学物質:3 物質が対象(100 物質中)
- ・販売量は公表しておりません。

※PRTR 法 (化管法)

「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」(平成11年法律第86号)

(5) 社会貢献活動への取組み

エコキャップ回収(医療支援・障がい者支援の寄付実施)

①提供先

・NPO 法人 エコキャップ推進協会 ・NPO 法人 世界の子どもにワクチンを日本委員 会提供したエコキャップは再生プラスチック原料として換金し、医療支援や障がい者 支援、子供達への環境教育等、さまざまな社会貢献にあてられます。

②回収量

•今期: 9,675 個 (2022 年 7 月 ~ 2023 年 6 月)

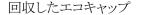
·累積: 137,336 個 (2012 年 7 月 ~ 2023 年 6 月現在)

③焼却した場合の CO2 発生量(換算)

·今期:22.50kg ·累積 826.5kg

④回収場所等

エコキャップ回収ボックス







(6) 地域の環境保全活動各事業所の環境保全活動への参加

① 本社

○まちかどクリーンデー(中央区) 本社ではお昼休みの時間帯に「まちかどクリーンデー」を行っています。 (7/11、10/11、11/10、3/10)

2022年11月10日

2023年3月10日





○中央区クリーンデー 2022年5月29日

○はな街道 クリーンウォーク 2022 夏 2022 年 7月21日 歳末クリーンウォーク 2022 2022 年12月20日

②北海道支店 2022 年 6 月 5 日

③広島・大野ケミカルセンター 2022年7月16日





④福岡支店 2022 年 10 月 14 日



⑤仙台支店 2022 年 11 月 16 日





⑧宇部営業所 2023 年 1 月 12 日



⑨静岡営業所 2023 年 3 月 16 日



⑩関西支社 2023年3月22日



(7) その他の環境活動 (eco 検定®の受検)

当社は、第1回試験 (2006 年 10 月 15 日)より 185 名の合格者を輩出しています。 受験者には、受験料・テキスト代(初回のみ)などの費用補助を行い、また、2019 年度より 社内人事昇格試験制度の資格ポイントに eco 検定を採用しています。 2022 年度(第 32 回、33 回)は合格者が 17 名となりました。



※eco 検定 (環境社会検定試験)®は 東京商工会議所の登録商標です。

eco検定(環境社会検定試験)®合格者数 累計·年度

